

2013年(平成25年)3月2日 土曜日

徳島発

グリーン・ビジネス

(5)

大半が燃料代だ」。ミカ
ンやスダチのハウス栽培
に取り組む奥田雅之さん
(59)=JA徳島市眉山支
所すだち部会長=は、嚴
しい実情を訴える。ハウ
スの暖房に使う産業用A
重油の全国平均価格は2
012年12月現在で84・
8円(8焼未満納入の場
合)と、3年前と比べて

20円近く上昇した。
↑
こうした中、コンクリ
ート製品製造のエコテック
(松茂町)=は県立工業
技術センターと共同開発
した「ボイラー炉内壁面
輻射増塗料(省エネ塗
料)」の農業分野への普
及に意欲的だ。

デフレ不況や食習慣の
変化で、作物の販売価格
が上がり難い中での燃料
高。奥田部会長はこの塗
料に真っ先に関心を示し
た一人だった。JA徳島
市多家良支所のハウスミ
カン部会長時代、会員に
先駆けて取り入れた。燃
料費は現在、前年比15%
の削減効果を確認してい
る。同部会での普及率は
90%に達したため、ハウ
ス農家にとっては苦し
い状況が続く。

日経平均株価が1万1
600円の水準まで戻
り、安倍政権の経済政策
「アベノミクス」への金
融市場の期待感は底堅
い。最近の円安は輸出関
連企業の業績を押し上
げ、景気回復への明るさ
をもたらしている。その
一方で石油価格の高止ま
りを招き、徳島県内のハ
リチウムイオン電池の
材料に使われる熱吸収素
材に耐熱塗料を配合した

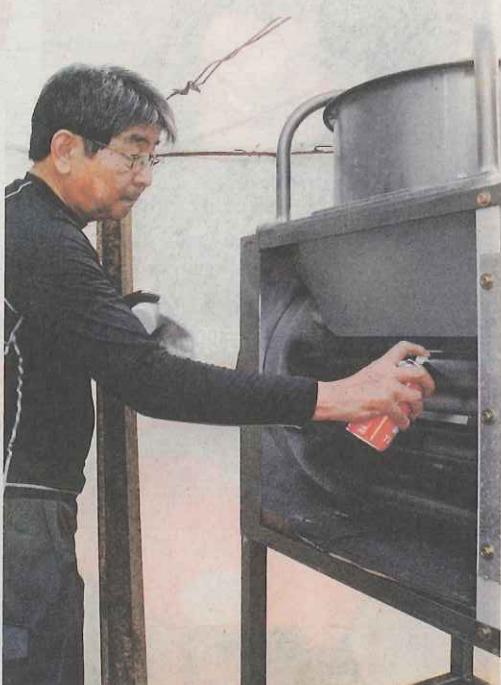
燃費向上塗料を農業に

ハウス栽培で普及進む

スッダチへの導入を検討
している。

エコテックはJA全農
とくしまと提携し、2月
1日から各JAを通じた
販売を始めた。農家の
導入に弾みが付くと期待
を寄せており、一層の普
及のため簡略化した施工
法も考案した。

ボイラーの空気供給を
最適にした上で口金に塗
布すると、火炎温度が上
昇し、燃料消費が5~10
%ほど抑えられる。内壁
に塗る従来工法の施工料
を商品化し、大量販売し
たい考えだ。ボイラーの省エネ対策
は農業用ハウスで5万円
程度だったが、半額程度
に抑えた。「徳島で実績
を積み、高知や宮崎とい
つた園芸作物の大産地に
はある。身近なことから
始めることが重要」と語
った。(経済部取材班)



ボイラーの燃焼効率を上げる塗料を
吹き付ける益田社長=徳島市